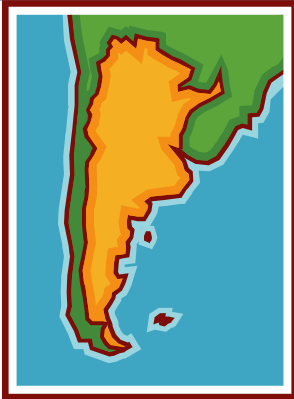


タンゴとサッカーの国・アルゼンチン



8月29日(金)、太市公民館で国際理解出前講座「タンゴとサッカーの国・アルゼンチン」を開催しました。講師は、ご両親の移住により、1歳から結婚されるまでの間アルゼンチン・ブエノスアイレス近郊で過ごされた大谷アリシアさんです。



<講座の様子>

日本からアルゼンチンまでの移動は、早くても 30 時間くらい、乗り継ぎ次第では 48 時間かかることもよくある、という話に皆さん驚いておられました。大谷さんのご両親が移住された頃は 1 か月の船旅だったそうです。

“南米のパリ”とも言われる美しい街並みや、パンパと呼ばれる大草原、イグアスの滝などの大自然の様子は本当に魅力的です。また、今年のワールドカップサッカーでアルゼンチンが準優勝したのは記憶に新しいですが、やはり熱狂的なサッカーファンが多いそうです。

今回の講座では南米で良く飲まれている「マテ茶」を公民館で用意してくださっており、休憩の時間にタンゴの音楽を聴きながらいただきました。マテ茶は、生の茶葉はかなり強い匂いがしますが、今回いただいたお茶はクセがなく飲みやすいと、受講者の方に好評でした。

ビタミンが豊富で「飲むサラダ」と呼ばれるマテ茶。



アルゼンチン・ナショナル・サッカーチームのユニフォーム

アルゼンチンには民族衣装と言われるものはないそう。しいていえば、このポンチョと呼ばれるものが民族衣装にあたるそうです。

